

県央・宇都宮版

快速導入で最大11分短縮

LRT15キロ区間 宇都宮市試算

【宇都宮】次世代型路面電車(LRT)の導入を目指している市は17日の市議会への説明会で、JR宇都宮駅東口から芳賀高根沢工業団地までの約15キロ区間で快速を運行すると、各停が43分掛かるの比最大で11分所要時間を短縮できるとの検討案を提示した。また、導入車両はピーク時の需要などを考慮し1編成30両級車両とする構想が示され、その場合は従来の20両級車両に比べ、事業費が約12億6千万円増えるとの試算が報告された。(篠田裕次)

ピーク時想定 30両級車両構想も

市総合政策部は昨年12月に開かれた芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会にて委員から「自動車などからの転換を促す上で所要時間を短縮することが重ていた。」



福井鉄道が運行する1編成30両級の車両F1000形

初の住民投票条例審議

臨時議会24日開会

宇都宮市議会

【宇都宮】市議会を24日から29日の日程で開催する臨時議会は24日開会し、市民団体の「民意」を反映させることと決めた。住民投票条例をめぐる臨時議会が開かれるのは市議史上、初めてとなる。LRT導入に関する住民投票条例の審議が議案として提出される。

27日の本会議で上田代表らが意見陳述した後、各派の代表が一問一答方式で質疑を行った。その後、総務常任委員会を開き、上田代表らを参考人として招いた上で審議し、最終日29日の本会議で採決する段取りだ。

開かれ、LRT導入に慎重な市民連合や統一協会、日本共産党など、各派が金子和義議長に提出していた臨時議会の運営に関する申し入れについて協議した。申し入れは①議員協力を開催すること、②少数派も委員として出席できる委員会の設置などを求めた内容だが、「規則に定められている通り、常任委

鹿沼屋台囃子が競演

【鹿沼】鹿沼屋台囃子活用実行委員会(神谷幸伸委員長)は19日、鹿沼屋台囃子初打ち会を今宮神社と参道で開く。囃子保存会30団体がぎやかに競演する初の試みで、流派の違いの聞き比べもできる。

流派聞き比べを

文化庁の本年度「文化遺産を活かした地域活性化事業」の支援事業として行われ、このほか昨年11月には初心者向けの屋台囃子体験教室が開かれた。また3月には、各団体の若手に演奏の機会を設ける屋台囃子発表会も予定している。(高橋直樹)



初心者向けの屋台囃子体験教室で行われた模範演奏(昨年11月)

30団体あす初打ち会

内会に協力を呼び掛けて演奏してもらっている例も多い。その囃子団体が、伝統文化の継承をアピールするため、午前10時からの鹿沼囃子工業組合のまとい振り、木やりに続き、参道に並んだ各団体が演奏する。その後、境内に場所を移し再び演奏を行う。参道は車両進入禁止となる。



【下野】国分寺東小は16日、同校と地域住民との関係を深める取り組みを本格的に始めた。この日は同校1年の児童57人が柴のコミユニティーセンター友愛館で地元の高齢者たちと交流する。

昔遊びお年寄りとの交流

地域連携見守りにも期待

ちとお手玉や羽子板などの「昔遊び」で交流。参加者が顔見知りになることで子どもが見守りや地域活性化につながるべく考えた。「昔遊び」は生活科の授業の一環。児童が実際に地元高齢者から昔遊びを学ぶことで、学習の理解を深めるだ

けでなく地域と子どもとの連携向上が期待される。同校に隣接する友愛館では地元の高齢者がさまざまな活動を行っていることから、同校は連携を模索している。

昔遊びの交流会には地元の高齢者約50人が参加。14班に分かれて

【益子】25日から日光市で始まる湯西川温泉がまくら祭(伴美実行委員長)を前に、同温泉の若女将3人が16日、湯西川酒造店で開催する来場者に振る舞うとぶるのかははん作業などを行った。

同校の室井妙子(59)は「お互いに地域を知ってあげれば子どもを見守ることにつながる。今度は学校の授業参観に高齢者招くなど、継続して取り組みを行いたい」と話した。(柳木沢良太)

